

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小山市役所			代表者名	浅野 正富
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報政策課	連絡先電話番号	0285-22-9343
担当者役職	室長	担当者氏名	藤田 馨子	連絡先E-mail	
住所	3238686 栃木県小山市中央町1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	生成AI導入事業	
概要	職員向けの「生成AIによる業務効率化とリスク対策について」の研修を行い、職場における生成AIの業務利用の拡大を図る。			
支援を求める分野	AI活用 生成AI活用			

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月18日	講演(実地)	13時15分	14時45分	
			活動時間(分)	90	
2-2. 派遣場所	会場名	小山市役所本庁舎	最寄駅	小山駅	
	所在地	小山市中央町1丁目1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩10分	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">・講話内容に他自治体の先進的例示の提示をするなど、受講者が身近に感じるようなアプローチをとっていただきました。・slidoを利用していただき、講話中受講者も質問や意見を発信することができ、一方通行になりがちな集合研修が双方向の研修となり、受講者の理解度が上がりました。・実際にAIを使って、どのようなプロンプトを出すと、どのような生成物ができるのかを、実際に行っていたいただき、わからないことが多く使用に不安を抱える職員の、生成AIへのハードルを下げていただけたように感じました。
アドバイザーへの要望事項	<ul style="list-style-type: none">・次回、AI利用推進のための更なる施策についてご相談したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	60人
	属性 自治体職員 住民 企業・団体 その他(学生など)	人数	60 0 0 0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">・2023年10月に、職員の生成AI利用を開始したが、個人による生成AIの活用能力に依存しており、利用者拡大と効果的な利用になっていない。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">・職員自らが担当する業務に生成AIを積極的に活用し、業務効率化を推進する職場となる。・他部署における相談業務に生成AIの利用拡大を図り、市民に寄り添った的確な支援ができるようになる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	下の内容の講義をいただき、AIへの興味を惹き出し、活用への流れを作っていただくことができました。 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの仕組み ・デモンストレーション ・AIの課題・リスク ・地方自治体における生成AI活用事例 ・ガイドライン(経済産業省・東京都) 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講座終了直後から、受講した職員からAIの使用方法についての質問をたくさん受けています。AIに関しては、これまであまり興味を持ってもらえてないと感じていたため、注目度が上がっているうちに利用を拡大を図りたいと考えています。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない効果は今後出てくるものと思われます。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	受講者を対象としたアンケート調査を実施したので、その結果を次回分析する予定です。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前アンケート調査の結果を別ファイルにて添付します。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 次年度も、AIの利用環境の向上を図るとともに、研修も引き続き実施していきます。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の積極的な生成AIの活用による業務効率化の結果、職員の作業時間が短縮された分を市民サービスの充実に振り当てる ・相談業務等の生成AIの利用により、より質の高い市民に寄り添った的確な支援ができるようになる。 	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

